

1363 平成26年度 よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト 港北区審査会が開催されました。
 ……共通テーマ「国際平和のために、今自分ができること」を区内小学校25校の児童代表が述べる……
 6月17日(火)午後2時から 港北公会堂を会場に小学校の児童25名のスピーチが始まりました。



港北公会堂に用意された横断幕



開会の言葉
 菊名小代表児童



教育委員会挨拶
 宮本 雅司指導主事



審査委員長挨拶
 港北小学校 藤村幸秀校長

25校の代表児童のスピーチ



スピーチコンテストを参観する方々



審査委員で協議の結果、港北区代表児童の発表がありました。



矢上小学校 佐治 秀朗校長より発表・ 区小学校長会長・新吉田小学校・ 北綱島小学校 昆しのぶ校長より
谷田 昭典校長より賞状授与 指導・講評



綱島東小学校代表児童の閉会の言葉



今年度 港区内小学校の代表として選出された、駒林小学校6年 榊原 凜音さん

「平和へつなぐカギ」

駒林小学校 6年 榊原 凜音

みなさんはあの日のことを忘れていないでしょうか。そう、あの2011年3月11日を。私はあの時、宮城県仙台市に住んでいました。家の中では冷蔵庫がたおれ、電気もガスも水も止まり、それまで当たり前だった普段の生活は一変しました。

車での生活や明かり一つない夜が何日も続き、この先どうなるのかが、ただただ不安になるばかりでした。時には、近所の人たちで集まり、限られた食料を分け合い、はげまし合ったこともありました。

一週間ほどたってやっと見るできるようになったテレビ。

そこには、日本人だけでなく、海外からの応援メッセージや支援物資など、みんなが協力している姿がありました。実際に支援物資をもらって生活していた私は、このことを知ってから感謝の気持ちだけでなく、『私にも何かできることはないだろうか。』と、日がたつたびに強く思うようになりました。

しかし、あれから3年。

正直、あの時感じた『何かできないだろうか。』を忘れていました。

そんなある日、映画「アナと雪の女王」の主題歌「レット・イット・ゴー」の英語の意味が知りたくなって調べているとき、私は「はっと」思い出しました。今いる自分は、国境を越えたたくさんの人によって助けられたことを。言葉が通じれば、世界中の人とのつながりが広がり、「キズナ」がもっと深まると思います。「英語が話せるようになって、あの時の感謝を伝えたい。そして今度は、私が国際ボランティアとして平和の手助けがしたい。」と。

これは、今すぐ出来ることではありません。でも、何も始まらない。

私に今できることは何だろう。英語の勉強をがんばること。世界で何が起きているのか知っておくこと。

少しずつでもいい、まずは行動を起こすことが大切だと強く思うのです。

周りを見てください。平和へとつなぐカギは、皆さんの身近な所にありませんか。

一人一人の行動が、人と人とのキズナを深め、国と国とが、互いに支え合っていける一番の近道だと思います。平和へとつなぐカギは、私たちのすぐそばにあるのです。

(榊原 凜音さんのスピーチ原稿から)